金正恩時代の朝鮮

金正恩時代の朝鮮

朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社
チュチェ109(2020)

まえがき

2010年代に入り、偉大な指導者金正日(キムジョンイル)総書記の逝去と敵対勢力の増大する政治的・経済的・軍事的圧力によって、朝鮮は依然として困難と試練を経ざるをえなかった。

しかし、朝鮮はあらゆる困難を乗り越え、挫折と後退を知らず、ひたすら自分の選んだ社会主義の道を力強く前進し、人民の理想を実現するために急テンポで飛躍している。

その根底には何があるのだろうか。

世界が見守る中、今日の朝鮮はいかなる力に基づいて存在し、何を旗印として前進し発展しているのか。

このような疑問を抱く人々に正しい理解を与えるために本書を刊行する次第である。

目　次

1. 人民の信頼

敬愛する金正恩（キムジョンウン）同志は、全朝鮮人民の一致した意思と熱烈な志向によって、2010年9月28日の朝鮮労働党第３回代表者会で朝鮮労働党中央委員会委員に、朝鮮労働党中央委員会2010年9月総会では党中央軍事委員会副委員長に選出された。

これは、朝鮮でチュチェの革命偉業継承の新時代が開かれていることを全世界に宣言する歴史的な出来事であった。

金正恩同志が党中央軍事委員会副委員長、党中央委員会委員に選出されたことにより、朝鮮では、党と革命の前途を左右する根本問題である指導の継承問題、チュチェの革命偉業の継承問題を立派に解決しうる確固たる保証がもたらされた。

2011年12月17日、朝鮮人民は天のごとく信頼し、慕っていた偉大な指導者金正日総書記を失うという最大の痛恨事に見舞われた。

全国が悲哀に沈み、全世界が哀悼の意を表した。

それから10余日が過ぎた12月30日、朝鮮労働党中央委員会政治局会議では、金正恩同志を朝鮮民主主義人民共和国武力最高司令官に推戴するという決定が採択された。

これは、金正日総書記の遺訓であり、すべての朝鮮人民の一致した意思であり念願であった。

2012年4月11日、平壌（ピョンヤン）で開かれた朝鮮労働党第4回代表者会では、金正日同志を永遠なる朝鮮労働党総書記として仰ぎ、金正日総書記の革命的生涯と不滅の革命業績を末長く輝かせることについて討議し、それに即して朝鮮労働党の規約を改正した。

代表者会では、金正日総書記の遺訓を体して金正恩同志を朝鮮労働

朝鮮労働党第３回代表者会で党中央軍事委員会副委員長、
党中央委員会委員に選出された金正恩同志
2010年9月28日

党の最高首位に推挙することを討議、決定し、金正恩同志を朝鮮労働党第１書記に選出した。

代表者会は、朝鮮労働党の規約と朝鮮労働党最高指導機関の選挙細則に従って、朝鮮労働党第１書記の金正恩同志が党中央委員会政治局委員、党中央委員会政治局常務委員会委員、党中央軍事委員会委員長に選出されたことを宣言した。

金正恩同志を朝鮮労働党第１書記に推戴したことは、すべての党員と人民の絶対的な支持と信頼の現れであり、金正恩同志の指導に従って進もうとする人民の不変の信念と意志をはっきり示す一大政治的出来事であった。

2日後の4月13日に開かれた朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第12期第5回会議では、金正日総書記を共和国の永遠なる国防委員会委員長として仰ぐことを法制化し、社会主義憲法を修正、補足して朝鮮民主主義人民共和国国防委員会第１委員長の職制を新たに設けた。

そして、金正恩同志を朝鮮民主主義人民共和国国防委員会第１委員長に選出した。

2016年5月6日から9日まで、平壌では朝鮮労働党第7回大会が盛大に行われた。第6回党大会から30余年ぶりに開催される第７回党大会は、全朝鮮人民と世界の期待と関心を集めた。

大会では、朝鮮労働党規約の改正問題を討議し、すべての党員と人民の一致した意思と念願をこめて金正恩同志を朝鮮労働党委員長に選出し、朝鮮労働党中央指導機関を選挙した。

朝鮮労働党第7回大会が行われてから約１ヵ月後の6月29日、平壌では朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第13期第4回会議が開かれた。

会議では、国防委員会を国務委員会に改称するという憲法の修

朝鮮労働党委員長に選出された金正恩同志
2016年5月

正・補足案が討議され、金正恩同志を朝鮮民主主義人民共和国国務委員会委員長に選出し、朝鮮民主主義人民共和国国務委員会が構成された。

朝鮮で一心団結の威力が一層強化され、自力更生の旗を高く掲げて経済建設大進軍が力強く進められていた2019年4月11日、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第14期第１回会議が開かれた。

この会議でも、金正恩同志は朝鮮民主主義人民共和国国務委員会委員長に再度選出された。

朝鮮労働党第7回大会が行われた4･25文化会館
2016年5月

2. 指導思想、政治哲学、政治路線

金日成・金正日主義

金正恩委員長は非凡な思想的・理論的英知と精力的な思想・理論活動によって、金日成主席と金正日総書記の革命思想の旗印の下に切り開かれ、勝利のうちに前進してきた朝鮮革命発展の歴史的全過程とチュチェ思想の発展過程を最も科学的に分析した上で、金日成主席と金正日総書記の革命思想を金日成・金正日主義と定式化する歴史的大業を成し遂げた。

金日成主席は、革命の長途についた当初から人民大衆の中に入り大衆に依拠してたたかう真の革命の道を歩み、革命の主人は人民大衆であり、彼らを教育し、奮い立たせてこそ革命で勝利することができるという真理を明らかにし、革命の指導思想、チュチェ思想を創始した。

金日成主席が創始したチュチェ思想を金日成主席の尊名を冠した革命思想として定式化し、自主時代の唯一の指導思想として輝かせたのは金正日総書記である。

従来の革命理論の時代的制約を全面的に分析し、自主時代の革命偉業を導く思想は金日成主席の革命思想しかないということを理論的に、歴史的に実証する日々に費やした金正日総書記の心血と労苦は筆舌に尽くしがたい。

つとに金日成主席の革命思想―チュチェ思想に精通した金正日総書記は、金日成総合大学で革命活動を繰り広げていた時と、朝鮮革命の参謀部である党中央委員会で活動しながら金日成主席の革命活動を直接補佐する多忙を極める中でも、精力的な思想・理論活動によって人類の築き上げた進歩的な思想的・理論的財宝を体系的に、歴史的に耽読して研究した。

この過程で金正日総書記は、金日成主席の革命思想こそは勤労人民大衆の志向と念願を正確に反映した思想であり、自主時代の革命と建設におけるすべての理論的・実践的問題に正しい解答を与える最も科学的かつ百科全書的な思想はチュチェ思想しかないという結論に達した。

そして、金日成主席の革命思想は、従来の労働者階級の革命思想の枠内ではとうてい論議することも解析することもできない、チュチェの思想、理論、方法の全一的体系をなしているまったく新しく独創的な思想であり、金日成主席の尊名を冠するほかない自主時代の唯一無二の指導思想、最も完成した革命思想であることを論証した。

金正日総書記の精力的な思想・理論活動によって、史上初めて金日成主席の革命思想が金日成主義として定式化され、全面的に総合され体系化されるようになり、チュチェ思想を真髄とし、チュチェ思想によって明示された革命理論と指導方法が一つの有機的連関の中で展開され、体系化された金日成主義は自主時代を代表する革命の指導思想であるという、その思想史的地位が明らかにされた。

それゆえ朝鮮人民は、以前から金正日総書記の革命思想は名実ともに金日成主席の革命思想に基づいており、金日成主席の革命思想と金正日総書記の革命思想は基点も基礎も一つであり、体系と構成も一致する同じ思想であるとみなしてきた。

金日成主席の革命思想と金正日総書記の革命思想はいくら区別しようとしても区別できず、金日成主席の革命思想はすなわち金正日総書記の革命思想であり、金正日総書記の革命思想はすなわち金日成主席の革命思想であるということは朝鮮人民の一致した結論であった。

そのため、朝鮮人民は以前から金正日総書記の思想的・理論的業績をたたえ、金日成主席の革命思想と金正日総書記の革命思想を一つに結び付けて金日成・金正日主義と呼んできたのである。

ところが、限りなく謙虚な金正日総書記は、金正日主義はいくら掘り下げても金日成主義であるとし、金日成主義を自分の名と結び付け

て呼ぶことを極力差し止めた。

実際、人類の思想史上最も高く輝かしい地位を占めている金日成主義の宝庫は、金日成主席と金正日総書記が長きにわたって共にもたらした共同の富、共同の結実である。それゆえ、この偉大な革命思想に金日成主席と金正日総書記の尊名を冠するのは当然なことであり、自然なことである。

それは、単に幾人かの発起によるものではなく、時代の要請、人民大衆の切々たる要請だったのである。

時代と人民のこの切々たる要請を誰よりも深く洞察し、立派に解決したのは、ほかならぬ金正恩委員長であった。

領袖の革命思想をいかに定式化するかということは、個々の人によってなされるものではない。

それは、時代と革命、人民大衆の志向と要請を一身に体現し、領袖への最も気高い忠誠心を身につけて領袖の革命思想に完全に精通した偉人、領袖の真の後継者によってのみなされる。

金正恩委員長は、2012年4月6日の歴史的な著作『偉大な金正日同志をわが党の永遠なる総書記として高く戴き、チュチェの革命偉業を立派に成し遂げよう』で、金日成主席と金正日総書記の革命思想を金日成・金正日主義と定式化した。

金正恩委員長は、金日成主席と金正日総書記の革命思想を金日成・金正日主義と定式化した上で、金日成・金正日主義はチュチェの思想、理論、方法の全一的な体系であり、チュチェ時代を代表する偉大な革命思想であると宣言した。

金正恩委員長が定式化した金日成・金正日主義は本質上、人民大衆第一主義であり、完璧な革命の指導思想、指導理論、指導方法である。

金日成・金正日主義の革命的本質は人民大衆第一主義である。

歴史の主人である人民大衆の地位と役割が非常に高まった今の時代の要請が徹底的に反映されている金日成・金正日主義は、すべての原

理と内容が人間、人民大衆を中心にすえ、その役割を基本として展開されている。

それゆえ金日成・金正日主義は、人民大衆の構成員であるなら誰でもすぐ共感し受け入れられる正当かつ普遍的な、生命力のある時代の思想であり、人民大衆中心の朝鮮式社会主義の現実に立派に具現されて、その正当性と生命力を遺憾なく発揮している。

今日、朝鮮では革命発展の新たな要請に即して、人民大衆第一主義を現実に徹底的に具現するための闘いが力強く展開されている。

金日成・金正日主義はその構成体系と内容を見ると、金日成主席によって創始され、金日成主席と金正日総書記によって深化、発展してきたチュチェ思想と、それによって明らかにされた革命と建設に関する理論と方法の全一的な体系である。

金日成・金正日主義は、人民大衆の自主性が完全に実現した社会の真面目とその建設の合法則的過程、社会主義偉業遂行の全過程で堅持すべき戦略と闘争方針だけでなく、指導方法をも科学的に明示した革命思想である。

それゆえ、金日成・金正日主義はチュチェの思想、理論、方法の全一的な体系をなしている完成した思想であることがより明確になり、今の時代だけでなく未来社会の遠い将来まで変わることなく掲げていくべき革命の指導思想、指導理論、指導方法であることが改めて実証された。

人類の思想史上最も高く輝かしい地位を占めている金日成・金正日主義は、今日、チュチェ革命偉業の最終的勝利のための朝鮮人民の闘いを力強く励ます思想的・理論的武器となり、自主と社会主義を目指す諸国人民の闘争の前途を全面的に明らかにする現代の完成した革命思想、革命理論として光り輝いている。

政治哲学

今日、列強の利害関係によって正義が不正義として犯罪視される国際情勢の流れの中でも、些かもためらったり回り道することなく、自分の選んだ道をまっしぐらに突き進む朝鮮の姿を世人は懐疑の目で見ている。

国土が狭く、人口も多くない朝鮮が、果たして何の力があって民族の尊厳を誇示し、最後の勝利を目指して自信満々と進んでいるのであろうか。

朝鮮人民はこの疑問に長々と答えようとはしない。朝鮮人民の誰もが示す答えはただ一つ、自主によって輝く傑出した政治家こそがすなわち尊厳であり、生命であるということである。

自主の精神は、何物にも束縛されず、自分の意思と要求に従って生きようとする信念と意志に表れる精神であり、人間の尊厳と価値を規定し、国と民族の尊厳を保証する精神的要因である。

したがって自主の精神は、個々の人間の運命だけでなく、国と民族の運命開拓に大きな影響を及ぼし、政治をつかさどる上で最も重要な問題の一つとなっている。

自主の精神は、国と民族を導く政治家、国家の指導者にとって最も重要である。

自主の精神に徹した政治家は、いかに不利な条件や環境の下でも他人に束縛されたり依存したりせず、独自の路線と政策を打ち立て、自分の力で自国と民族の運命を成功裏に切り開いていく。

しかし、自主の精神が欠如した政治家は、何事であれまず他国に期待をかけ、その指図に従って動いたり、他国に盲従する政治を行って国と民族に恥辱のみを与える。

国家は存在しても、独自性と自立性が欠如し、自主的芯がないため

に人民が悲惨な運命を強いられるのは、世界の少なからぬ国に見られる現象である。

これは、政治家の自主の精神の高さにより、国と民族、個々人の運命と前途が左右されることを意味する。

つまるところ、人民の自主性を実現するための闘争を指導する政治家にとって自主の精神は生命である。

朝鮮の自主の精神は、国と民族の運命開拓におけるすべての問題を、あくまでも自国人民の自主的要求と利益、自国の実情に即して自国人民の力で解決していかなければならないということである。

人民の自主的尊厳を第一とし、それを守ってくれる愛より大きな愛はなく、そのために傾ける温情より有難いものはない。

金正恩委員長の政治面での座右の銘は自主である。

金正恩委員長は次のように述べている。

「われわれは、金日成同志と金正日同志が生涯座右の銘とし、堅持してきた自主的芯をそのまま継承して、金日成民族、金正日朝鮮の尊厳と栄誉を引き続き固守し、輝かせていかなければなりません」

政治における自主が勝利の道、人民に幸福をもたらす道であることは、朝鮮革命の実践を通じて証明された真理である。

自主は、人間に自分自身を目覚めさせる運命の灯であり、革命の嵐を巻き起こす強力な原動力であり、偉大な強国、偉大な人民を生む創造と変革の代名詞である。

自主ののろしを高く掲げ、植民地弱小国から世界的な政治・軍事強国として浮上した金日成・金正日朝鮮の100年史には、自主性は社会的存在である人間だけでなく、国と民族の生命であるという精神的支柱が確立している。小さい国、小さい民族であるほど自主の精神を生命とし、自主権の実現を自分の発展の第一の戦略とすべきだという金日成主席と金正日総書記の思想と指導は現代朝鮮の奇跡を生み出した。

自主は、幾多の試練と難関を乗り越え、百戦百勝の一路を力強く前進してきた朝鮮革命の全道程に掲げられてきた朝鮮の門札である。

口に言うは易く、実行は難いのがほかならぬ自主である。地政学上大国に囲まれ、海洋勢力と大陸勢力の利害が対立していた朝鮮半島では、長きにわたり生存のための信条と見なされてきた根深い事大主義と教条主義が自主の発現を阻む禍根となっていた。

しかし、この地に根強く残っていた事大主義と教条主義は、自主政治の大家である金日成主席と金正日総書記によって一掃された。

顧みるに、金日成主席と金正日総書記の不屈の信念と意志によって、朝鮮革命は厳しい歴史の風波の中でも終始一貫自主の旗印を高く掲げ、革命と建設の各分野でささいな失敗や挫折、動揺もなく、勝利と栄光の道を歩んできた。

自主はすなわち金日成主席であり、金正日総書記であり、金正恩委員長である。

この惑星に数千数万の道があってもわれわれが進むべき道はただチュチェの道だけであり、他人が何と言おうとも、どの道を歩もうとも、われわれは自主的立場を堅持し、われわれの方式で革命と建設を行わなければならないというのは、金正恩委員長が揺るぎない信念、胆力として身につけた透徹した自主の精神である。

一人の人間の信念と胆力は一個人の運命と前途を決するにすぎないが、指導者の信念と胆力は国と民族の興亡盛衰、強弱進退を決する。

人民大衆の運命に責任を持つ革命の指導者の最高の政治哲学は、人民の自主的尊厳を実現することであり、そのためには誰も及ばない不屈の信念と強靭な胆力を身にそなえる必要がある。

人類が理想とする自主の道を進むのは決して容易なことではない。そのためには、あらゆる挑戦と妨害策動をはねのける透徹した自主的信念と強靭な胆力がなければならない。

世界の少なからぬ国が事大と屈従から抜け出せないのは、まさに自主的芯を裏付ける信念と胆力が欠如していることに起因している。

近年、政治的自主性を失って右往左往したあげく、抜き差しならぬ窮地に陥った国々の実態がそれを示している。

天地を揺り動かして宇宙に飛び立った朝鮮の地球観測衛星「光明星(クァンミョンソン)-4」号の打ち上げ成功をはじめ、金日成民族、金正日朝鮮の尊厳と威力を全世界に誇示した特筆大書すべき出来事は、金正恩委員長の鉄の信念と強靭な胆力の明白な証左である。

2012年12月の朝鮮の人工衛星「光明星-3」号2号機の打ち上げに恐れおののいた敵対勢力は、共和国の平和的な衛星打ち上げを不法化し、朝鮮の社会主義建設全般を妨害するための悪辣な敵対措置で一貫した国連安保理の「決議」を採択した。

それによる「制裁」は明らかに朝鮮の自主権に対する蹂躙であり、朝鮮人民の生存権、発展権に対する重大な侵害であった。

衛星の打ち上げは朝鮮のれっきとした自主的権利であり、国際法によって公認された合法的な主権行使であるので、他国が干渉する何らの名分や理由もないのである。

2016年2月7日、朝鮮の宇宙科学者、技術者は地球観測衛星「光明星-4」号を成功裏に打ち上げるという歴史的な快挙を成し遂げた。

朝鮮は普通の宇宙開発国から一躍宇宙強国へのめざましい飛躍を遂げた。わずか数回の試験衛星の打ち上げから地球観測衛星の打ち上げへの飛躍、傾斜軌道衛星から極軌道衛星への急速な発展、これは朝鮮式の多段階飛躍であると同時に、朝鮮民族の自主の精神と創造力の一大誇示であった。

幾多の試練と難関が横たわり、危険極まりない道ではあったが、自主的信念と胆力をもって登りつめた高峰で勝ち取った栄光であるため、とりわけ誇らしいものであった。

金正恩委員長の鉄の信念と胆力は人民大衆第一主義に基づいている。

人民大衆を導く指導者にとって、人民への愛と信頼は自主政治を実現する基礎となる。

いかなる束縛も許さず、自主的に生き発展しようとするのは人間本来の要求であり、志向であり、その実現のためには自分の生命さえも

ためらいなく捧げるのが人民である。それゆえ、人民に限りない愛情と絶対的な信頼を寄せる政治家こそが国と人民のための自主政治を実施することができ、国際関係においても自主権と平等権を堂々と行使することができるのである。

金正恩委員長は、政治・思想強国としてのわが国の不敗の威力は、チュチェ思想を具現した自主政治によって国と民族の自主権と尊厳を最高の境地で輝かせていることに如実に示されていると述べている。

現代は、自主勢力と支配主義勢力、進歩と反動の間に誰が誰をという厳しい闘争が展開されている反帝・階級闘争の時代である。自主と社会主義を目指す人民大衆の闘争は歴史のあらゆる反動勢力との激しい対決の中で前進してきたが、それが今日のように先鋭化した時はいまだかつてなかった。

今日の世界で自主はすなわち軍事力であり、人民の自主権と尊厳のための決断は口先ではなく銃剣によって下さなければならない。力の裏付けのない自主権と尊厳の要求は、むなしい哀願、たわごとにすぎない。強力な軍事力を持たずには、いかなる国も今日の複雑な国際情勢の下で自国の自主権と尊厳を守ることができず、国と民族の自主的発展と繁栄を遂げることもできない。

外国のある政治評論家は、「国土が狭く人口も多くない朝鮮が、国際政治に大きな影響力を及ぼしているのは、常識では考えられないことである。こうしてみると、朝鮮は国際政治の中心国だと確言することができる」と評している。

国際政治の中心国、これは決して人口が多く国土が広いことによって決まる概念ではない。昔も今も朝鮮の地政学的位置はそのままであるが、その地位には劇的な変化が起きた。それは植民地弱小国から世界的な政治・軍事強国への根本的な変化である。それゆえ、世界に対する朝鮮人民の胆力は強まり、世界は驚異の目で朝鮮を見ているのである。

朝鮮に対して体質的な拒否感を抱き、なんとしても朝鮮人民を窒息

させ屈服させようとする敵対勢力の策動が強まるほど、朝鮮の自主精神は倍加し、決心すればあくまでやり遂げるチュチェ朝鮮の気質と気概が余すところなく示された。
　自主政治によって朝鮮の総合的国力と戦略的地位は最高の境地に至り、国際政治の構図が根本的に変わるという驚異的な出来事が起こった。
　世界の多くのメディアは、金正恩委員長が国を導いたこの数年間に朝鮮はすっかり様変わりした、その戦略的地位も新しい境地に達したとし、先を争って朝鮮の素晴らしい現実を報じている。
　激変する目下の国際政治の風波の中でも微動だにせず、自主政治を行う朝鮮の政治は、自主性を志向する世界の進歩的諸国にとって立派な手本となり、敵対勢力の支配主義的野望をことごとく打ち砕く容赦なき鉄槌となっている。
　外国の人たちは朝鮮の政治の根本が分からないので、チュチェ朝鮮の無限の力、真の姿を理解できずにいるのは十分納得のいくことである。しかし、朝鮮の強大な国力をしっかりと支える柱、尊厳の絶頂へと押し上げるテコが自主政治であることを把握すれば、その本質は容易に理解できるであろう。

政治路線

金正恩委員長は歴史的な朝鮮労働党中央委員会2013年3月総会で、新たな情勢と革命発展の要請に即して朝鮮革命の勝利の前進のための新たな戦略的路線を打ち出した。

金正恩委員長は、新しい情勢と革命発展の要請を鑑みて、党中央は経済建設と核武力建設を並進させるという新たな戦略的路線を打ち出したと述べている。

経済建設と核武力建設の並進という戦略的路線は、国家の核武力を一層強化して敵対勢力の増大する核の威嚇に終止符を打ち、経済建設にさらに拍車をかけて社会主義強国の建設をより力強く推し進めるという金正恩委員長の決断によって提示された革命的な戦略的路線、独創的な政治路線である。

新たな並進路線の提示は、自主によって尊厳ある社会主義朝鮮が強力な核抑止力の保証の下に社会主義強国の建設を成功裏に前進させるための闘争に本格的に取り組み始めたことを告げる厳かな宣言であった。

経済建設と核武力建設を並進させるという戦略的路線は、金正恩委員長のたぐいなき胆力と気概が生んだチュチェ朝鮮の偉大な政治路線であった。

政治家の胆力と気概は、政治を実現しうる確固たる力に対する信頼によって保証される。

政治を保証する絶大の力は、政治家とその政治に対する人民の絶対的な支持と信頼であり、それにもまして重要なのは人民に対する政治家の厚い信頼である。財力や軍事技術的優勢に頼る政治家の胆力と気概には限界があるが、人民の絶対的な信頼と支持によって保証される胆力と気概は絶対的であり、最大の威力を発揮するものである。

領袖は人民を絶対的に信じ、人民は領袖に運命のすべてを託し、領

袖と人民が渾然一体となって歴史のあらゆる狂風を真っ向から切り抜けてきたので、朝鮮の社会主義はその行路に栄光と勝利のみをしるすことができたのである。

金正恩委員長は、生存を脅かす制裁と封鎖による困難な生活の中でも党の並進路線を固く信じ、絶対的に支持してくれた英雄的な朝鮮人民に崇高な敬意を表すると述べている。

一心同体となって領袖の指導を受ける人民の力ほど偉大な力はない。この世に絶対兵器があるとすれば、それは決して核兵器ではなく、たとえ困難な状況下にあっても困苦欠乏に耐えながら領袖を擁護する道で自主的尊厳を轟かせ、これ見よとばかりに誇らしく、堂々と生きようとする人民のいちずな心、領袖と人民の一心団結である。

人民のように有力な存在、人民のように誠実な存在、人民のように尊厳ある存在はなく、したがって人民の絶対的な支持と信頼を受ける政治家が打ち出した政治路線より威力あるものはありえない。

朝鮮の社会主義のすべての勝利は、いかなる神秘な力ではなく、自分の指導者の胆力と気概を身をもって体現した人民の力がもたらしたものである。

新たな並進路線が提示されてから5年にもならない、歴史の一瞬とも言えるこの期間に、朝鮮人民は金正恩委員長の周りに固く団結し、未曾有の歴史的大業を成し遂げるという世紀の奇跡を生み出した。

その道はまさに血と涙のにじむ刻苦奮闘の険路であった。

並進路線を貫徹するこの険しい道程で強く噴出したのは、金正恩委員長の人民への熱烈な愛情と祖国と革命の運命への崇高な責任感、祖国と民族の尊厳と気概を世界に宣揚しようとする不屈の信念と意志であり、金正恩委員長の偉人としての姿に魅せられ、その構想と意図を実現するために決死の覚悟で立ち上がった人民のいちずな心であった。

ゆえに、党中央委員会2018年4月総会では朝鮮労働党の並進路線の偉大な勝利が誇り高く宣言されたのである。

新たな並進路線を貫徹する過程で朝鮮人民は、マンリマ(万里馬)

速度で疾風のごとく前進し、数多くの近代的な工場や企業、学校、病院、住宅、憩いの場などを建設する成果を上げた。

また、朝鮮の主動的な措置と努力によって朝鮮半島と地域には緊張緩和と平和への新たな雰囲気がつくり出され、国際政治の構図には劇的な変化が生じている。

この奇跡的な勝利は、新たな並進路線の偉大な勝利であると同時に、英雄的な朝鮮人民だけがもたらすことのできる輝かしい勝利であった。

2018年4月20日、金正恩委員長は歴史的な朝鮮労働党中央委員会第7期第３回総会で並進路線の偉大な勝利を誇り高く宣言し、社会主義経済建設に総力を集中するという新たな戦略的路線を打ち出した。

そして、共和国の核武力建設で収めた歴史的な勝利を新たな発展の跳躍台とし、社会主義強国建設のすべての部門で新たな勝利を得るための革命的な総攻勢を繰り広げるべきだと述べた。

社会主義建設のより高い段階の目標を提示し、人民の自主的理想と幸福を実現するための革命的な総攻勢に活力を与えたことに党中央委員会2018年4月総会の大きな意義があり、新たな戦略的路線が最も正当な革命的路線となる根拠がある。

人民への愛に貫かれ、人民の支持を受ける路線と政策が勝利するのは法則である。人民の絶対的な支持を受けた並進路線が5年足らずの短期間に貫徹されて輝かしい勝利を宣言したように、経済建設に総力を集中するという新たな戦略的路線も必ず勝利するということは朝鮮人民の強い信念、意志であり、やがて世界が目の当たりにするチュチェ朝鮮の明日の姿である。

新たな戦略的路線は、愛国心に燃える知恵と創造力をそなえた人民、科学には国境がないが朝鮮の科学者には社会主義祖国があるという信念を持つ科学者、技術者の大集団に対する絶対的な信頼と愛情、自立的経済の基盤に対する確信に基づく科学的で革命的な路線である。

新たな戦略的路線はまた、その実現のための段階別目標と方途がすべて反映されている現実性のある路線である。

新たな戦略的路線の基本思想は、国の経済的基盤を強固にし、経済を活性化することである。これに基づいて朝鮮労働党は、その実現のための当面目標と展望目標を具体的に示している。

当面の目標は、国家経済発展5カ年戦略目標の遂行期間にすべての工場、企業で生産を正常化し、農村で豊作をもたらして全国に人民の楽しげな笑い声が高らかに響き渡るようにすることである。すなわち、人民経済全般を活性化し、上昇軌道に確固と乗せることである。

展望目標は、人民経済のチュチェ化、近代化、情報化、科学化を高い水準で実現し、全人民に他にひけをとらない裕福で文化的な生活をさせることである。すなわち、自立的かつ近代的な社会主義経済、知識経済を打ち立てることである。

新たな戦略的路線は朝鮮人民から全幅の支持を受けている。

3. 創造と変革

歴史の瞬間ともいえる10年足らずの間に朝鮮人民は強力な国防力を築き、社会主義強国建設の各部門で数多くの建築物を建て、変革をもたらした。

壮大な創造と変革の過程を振り返る人民の感慨は深く、追憶も鮮明である。

2012年、朝鮮では錦繍山太陽宮殿をチュチェの最高聖地として、より立派に整える事業が行われた。

錦繍山太陽宮殿は、自分の領袖に対する朝鮮人民の白玉のような忠誠心と気高い道義心が生んだ領袖永生の大記念碑的建造物である。

錦繍山太陽宮殿は朝鮮人民の切なる願いと献身的な努力により、金日成主席と金正日総書記の偉人としての姿と栄光に満ちた革命活動史、不滅の革命業績を子孫万代に伝える太陽の聖地としての面貌を完璧に備えた時代の傑作として整備された。

錦繍山太陽宮殿

2012年4月、万寿台（マンスデ）の丘には独特な建築様式を誇る人民劇場が建設された。建築の造形化、芸術化が立派に実現された6階建ての人民劇場の延床面積は5万余㎡、敷地面積は1万1500余㎡である。マイクを全く使わない1500席の円形生演奏ホールがあり、最新の舞台設備、レッスン室、メイク室、便益サービス施設など芸術創造と公演活動、観覧に必要なあらゆる条件が整っている。

特に円形生演奏ホールは、いろいろな角度から公演が見られるように客席が舞台を囲んでいるので、俳優と観客の情緒的共感がより円滑になされるようになっている。人民劇場が人民の美感と建築学的要求に合うように建てられたことで、人民は社会主義文化の創造者、享受者としての幸せな生活を思う存分楽しむことができるようになった。

金日成主席の生誕100周年に際してオープンした人民劇場には、金正恩委員長が勤労者と共に一般観覧席で公演を観覧した座席があり、そこに腰掛けて公演を見た人々はその座席表を大事に保存し、一生の誇りとするというエピソードが伝わっている。

倉田通りと人民劇場

2012年6月、平壌市にはいま一つの新しい市街倉田通りが立派に建設された。

金日成主席と金正日総書記の銅像が丁重に建てられている万寿台の丘から大同江のほとりに沿って建設された倉田通りは、超高層・高層住宅が立ち並び、さまざまの便益サービス施設が完備し、造形化、芸術化、公園化が立派に実現している。朝鮮人民はこぞって立ち上がって突貫作業を繰り広げ、建築および市街形成のすべての要素が整った倉田通りをわずか1年の間に建設するという新しい平壌速度、建設史にかつてなかった奇跡を生み出した。

2012年に朝鮮では、万寿橋食肉・魚商店、綾羅人民遊園地、統一通り運動センター、柳京院、人民屋外スケートリンク、ローラースケー

綾羅人民遊園地

人民屋外スケートリンクとローラースケート場

柳京院

統一通り運動センター

ト場、平壌産院乳腺腫瘍研究所など多くの記念碑的建造物が建設され、万景台（マンギョンデ）遊園地と大城山（テソンサン）遊園地が時代の要請に応じて立派に改修された。

2013年7月27日、戦勝60周年に際して祖国解放戦争勝利記念館の開館式が盛大に行われた。これは、金日成主席と金正日総書記が築き、輝かせてきた朝鮮革命の百戦百勝の伝統を継承し、金正恩委員長の指導の下に永遠に勝利のみを収めていこうとする朝鮮人民の不変の信念と意志の誇示となった。

祖国解放戦争勝利記念館は、ホールと各展示館、大型パノラマと展示物品などすべての要素が金日成主席と金正日総書記の戦勝業績と先軍革命業績をとわに輝かせる万代の宝庫であり、朝鮮の軍隊と人民の英雄的な闘争精神と偉勲を全世界に示す勝利の殿堂であり、人民に百戦百勝の歴史を変わることなく継いでいくという強い意志を植えつける勝利の伝統の教育中心地である。

祖国解放戦争勝利記念館

「偉大な年代に敬意を表する」という金正恩委員長の親筆がレリーフされた「勝利」像を中心とする広い区域に勲功兵器展示場などの野外展示場が立派に整えられた大露天博物館を持つ祖国解放戦争勝利記念館は、朝鮮人民の英雄的な闘争によってもたらされた時代の記念碑的建造物である。

10月15日、人民のための記念碑的建造物である紋繡（ムンス）遊泳場が竣工した。風光明媚な大同江のほとりに建てられたこの大規模な総合的遊泳場は、勤労者や青少年・学生が文化的で幸福な情緒生活を思う存分享受できる人民の憩いの場である。敷地面積10万9000㎡の紋繡遊泳場には、各種のウォータースライダーやプールからなる屋外遊泳場と総合的な室内遊泳場、体育館など、人民が四季を通じて水遊びを楽しみながら、休息できる必要な条件が十分に備わっている。軍人建設者たちは、建設工事と各種設備の組立てを立体的に推し進め、膨大な紋繡遊泳場の建設をわずか9カ月間で完了するというめざましい成果を収めた。

紋繡遊泳場は、朝鮮労働党が人民に享受させようとする社会主義文明がどんなものであるかをはっきり示している。

12月31日、馬息嶺（マシンリョン）スキー場の竣工式が行われた。

このスキー場は、自然生態環境から建築物の仕上げ装飾に至るまですべてが、人民の志向と美的感覚、文明と建築の先端を突破するという時代の要求に即して整えられた。

馬息嶺スキー場の建設は、朝鮮で年間降水量の最も多い東海岸地区の海洋性気候と海抜の高い山岳地帯という不利な条件の下で行われた困難かつ壮大な大自然改造工事であった。しかし、工事を受け持った人民軍軍人たちは、数度にわたって建設現場を訪ね、スキー場を時代のモデルとして、未来の文明水準に合ったものに建設するようにと強調した金正恩委員長の指導に励まされ、「馬息嶺速度」を創造して膨大な工事を短期間で完成するという奇跡的成果を収めた。

2013年に朝鮮ではこのほかにも、美林（ミリム）乗馬クラブ、銀河（ウンハ）科学者通

紋繡遊泳場

馬息嶺スキー場

美林乗馬クラブ

金日成総合大学教育者アパート

柳京歯科病院

銀河科学者通り

り、金日成総合大学教育者アパートなどが建てられた。これらの建築物を通じて、朝鮮人民がどれほどの水準の文明を求めており、朝鮮労働党の人民観がどんなものであるかが示された。また、玉流(オンリュ)児童病院、柳京(リュギョン)歯科病院が建てられて人民保健医療史の一ページが記され、祖国解放戦争参戦烈士墓が竣工して人民軍烈士たちの英雄的偉勲が末長く輝くようになった。そして、国家科学院中央キノコ研究所をはじめ多くの建造物が建てられ、平壌体育館が時代の要求に即して立派に改築された。

2014年5月2日、松涛園(ソン ドウォン)国際少年団野営所に建てられた金日成主席と金正日総書記の銅像除幕式及び野営所の竣工式が金正恩委員長の臨席の下に盛大に行われた。

銅像は、美しいハマナスが咲きみだれる野営所の公園のベンチに座り、温情深い笑みを浮かべて朝鮮と世界各国からのキャンプ生たちに囲まれている金日成主席と、子どもたちと共にいる金正日総書記の姿を形象化している。

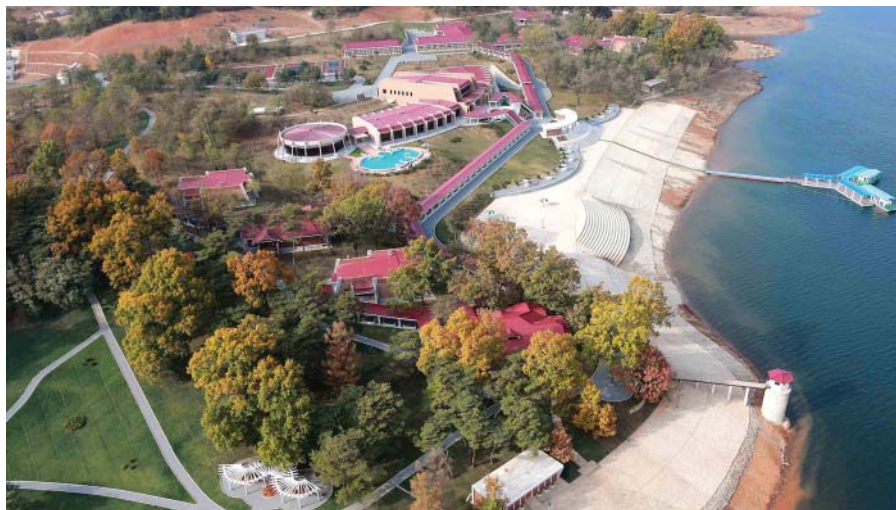
朝鮮東海岸の砂浜に面した松林の中に帆船を象って建てられた松涛園国際少年団野営所には、寝室や食堂、炊事場はもちろん、便益サービス施設まで童心に合わせて整えられた野営1閣と野営2閣がある。

野営所は、最新の映画普及施設と音響設備を備えた国際親善少年会館、登山知識普及室、電子娯楽室、図書室、国際親善室、少年団室、美術室、腕前展覧室、４Ｄ映画館、水族館、鳥類舎、海洋知識普及室、料理実習室などを完備した子どもの宮殿、子どものホテルである。

また、トラックのある人工芝生の運動場、室内体育館、室内水泳館、屋外遊泳場、青い波状のひさし屋根をつけた観覧席、屋外アーチェリー場などが一幅の美しい絵、芸術作品のようによく調和している。

竣工式後、参加者たちは運動場で金正恩委員長の臨席のもとに全国

松涛園国際少年団野営所

경애하는 김정은 장군님 고맙습니다

延豊科学者休養所

平壌育児院、愛育院

少年サッカー競技大会の決勝戦を観戦した。次いで、国際親善少年会館ではモランボン楽団の祝賀公演『われら幸せ歌う』が行われた。公演後の花火打ち上げは、野営所の竣工を祝うスポーツ・文化行事のクライマックスをなした。

2014年10月24日、延豊（ヨンプン）科学者休養所の竣工式が行われた。

風光明媚な延豊湖のほとりにわずか4カ月余りの間に建設された延豊科学者休養所は、朝鮮労働党が科学者に贈った「金のざぶとん」であり、日ごとに躍動する朝鮮の真骨頂を直観的に、雄弁に物語る記念碑的建築物である。

2014年10月27日、平壌育児院、愛育院の竣工式が行われた。

平壌育児院、愛育院はすべての要素がそのまま最適な生活環境、教育の場として建てられた院児のわが家、幸福の宮殿である。

この他にも2014年に朝鮮では、衛星科学者住宅地区、金正淑（キムジョンスク）平壌紡織工場の労働者寮が時代のモデルとして建てられ、葛麻（カルマ）食品工場をはじめ人民の生活向上に役立つ軽工業部門の工場が建設され、メーデー・スタジアムをはじめ多くの対象が時代の要請に即して改築された。

2015年1月の末、元山（ウォンサン）製靴工場が新世紀の要求に即して立派に改築された。

前年の7月、工場を現地指導した金正恩委員長は、勤労者の労働条件と生活環境を最高の水準で保障してこそ靴の生産量と質を一段と高めることができるとし、工場を近代化する課題を与えた。

建設者は着工してからわずか5カ月余りの間に改築工事を完了した。

そうして、射出作業班、甲皮職場、製靴職場などの生産用建物が一新されたばかりでなく、会議室、理髪室、美容室、浴場、食堂、寝室などの文化・厚生施設が新たに設けられた。

また、屋外スポーツ施設、憩いの場をつくり、従業員が遠隔教育を受け、大学の課程を修了できるように科学技術知識普及室も立派に整えた。

元山製靴工場

　これとともに、経営の情報化、生産工程の近代化を高い水準で実現した結果、労働力と資材、コストを節約しながらも生産量を増やし、製品の質を高められる確固たる保証を得た。

　今日、元山製靴工場でつくった「メボンサン」ブランドの靴は、人民の好みと美感、体質と年齢・心理的特性に合うので、名商品、名製

品として高く評価されている。

2015年6月30日、社会主義農村文化建設のモデル農場として建設された平壌市寺洞(サドン)区域将泉(チャンチョン)野菜専門協同農場の野菜温室と住宅、公共施設の竣工式と新居入りが盛大に行われた。

農場員たちと平壌市の勤労者は、新しい「平壌精神」、「平壌速度」創造の熱風を巻き起こし、わずか1年足らずの短期間に農場の面貌を新世紀の要求に即して一新するという成果を収めた。農場では数十ヘクタールの野菜温室を新たに設け、野菜生産を増やせる確固たる土台を築いた。

そして、農場員が文化的生活を思う存分享受できるように中央の芸術劇場に劣らぬ立派な文化会館を建て、バレーボールコート、プール、ローラースケート場、養魚場を備えた素晴らしい公園や遊園地も建設した。

寺洞区域将泉野菜専門協同農場

また、風呂、理髪、美容、水遊び、衣服や靴の修繕、写真、清涼飲料など便益サービスに必要な設備が完備した総合的なサービス拠点である将泉院を建設した。科学技術普及室には図書室、電子閲覧室、技術学習室を設け、土壌分析室、病害虫検定室に近代的な設備を備えた。

特に、立派に建設された文化住宅には太陽熱水加熱器と太陽光発電パネルを設置し、メタンガス供給システムを確立し、果樹を植えることで、自然エネルギーを積極的に利用できるようにし、村の果樹園化も実現した。そして、村の道をすべて石できれいに舗装し、しょうしゃな里人民病院も建設した。

2015年11月3日、朝鮮労働党の科学重視、人材重視思想と社会主義朝鮮の威力を誇示する時代の理想郷として建設された記念碑的創造物―未来（ミレ）科学者通りの竣工式が行われた。

わずか1年の短期間に未来科学者通りが建設されて、平凡な教育者、科学者たちが教育活動と科学研究活動に一層専念できるようになった。

未来科学者通りには、数千世帯の大きなタワー式、束式の高層、超高層住宅が立ち並び、蒼光（チャングァン）商店、託児所、幼稚園、学校などの公共施設、各種の商業・給養・便益サービス施設網、憩いの場、スポーツ公園などが総合的に建設された。大同江のほとりに沿って建設されたこの通りは、建物の外壁を色とりどりのタイルで仕上げ、屋根の形式も特色のあるものにした。遠くからでも未来科学者通りが一目で分かるように螺旋状電子トラックを象った53階建てアパートの屋上に象徴塔を設けたのをはじめ、すべての建築物が高度に芸術化されている。住宅の施工が丹念になされ、居間、父母部屋、夫婦部屋、子供部屋、台所などに高級家具や備品まで備わっており、教員、研究士は手荷物だけ持っていっても生活できるようになっていた。

ロシアの「ロシスカヤガゼータ」紙は、数十億の人々が利用しているインターネットに未来科学者通りの写真が載って人気を博して

いるとし、未来型の独特な建築物が立ち並ぶ未来科学者通りは、新たな文明開花期の時代に平壌に建設された新しい特色がある通りである、朝鮮民主主義人民共和国の首都はこのような建築物によって様変わりしている、西側のメディアは朝鮮の素晴らしいものをすべて無視し、朝鮮に関するデマを流し続けている、「百聞は一見にしかず」という言葉があるように、資本主義国の人々が朝鮮人民の暮らしについて正しく知るようになれば、その国の政府はただちに転覆するだろうと述べた。

ブラジルの某新聞社の社長がそのウェブサイトに、未来科学者通りと科学技術殿堂、万景台学生少年宮殿の数十枚の写真を載せて、「どの国の都市の建物でしょうか?」と質問したことがある。この問いに数千のネチズンが中国の香港か上海、マカオの建物だろうと答えた。朝鮮の建物だと答えた人はただの一人もいなかった。その後、彼が朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌の建物であると説明すると、みなが「想像を絶する」、「信じがたいほど素晴らしい」と驚嘆の声を上げた。

2015年に朝鮮ではこの他にも、平壌国際空港ターミナルビルが新たに建設され、元山育児院と愛育院、平壌養老院などが建設された。そして、白頭山（ペクトゥサン）英雄青年1号、2号発電所、清川江（チョンチョンガン）階段式発電所をはじめ時代の記念碑的建造物と、柳京キノコ工場、平壌幼児食品工場、平壌トウモロコシ加工工場、平壌ナマズ工場、総合サービス船「ムジゲ（虹）」号などの軽工業部門の工場とサービス施設が新たに建造または改築されて人民を喜ばせた。

また、信川（シンチョン）博物館や万景台学生少年宮殿をはじめ各地の教育拠点が時代の要請に応じて改築された。

2016年1月1日、金正恩委員長の臨席の下に全民学習の大殿堂である科学技術殿堂の竣工式が盛大に行われた。

科学技術殿堂は、朝鮮労働党の全人民科学技術人材化方針が立派に反映されており、日ごとに発展する朝鮮の建築芸術の極致、象徴

未来科学者通り

平壌国際空港ターミナルビル

総合サービス船「ムジゲ」号

科学技術殿堂

となる記念碑的建築物であり、知識経済時代である21世紀に朝鮮労働党が人民に贈る最新の科学技術普及の拠点である。平壌の風光明媚な場所に科学の世界を象徴する巨大な原子構造模様を象って建てられた科学技術殿堂は、建築美が独特で、かつ造形芸術的に調和をなした一つの傑作であり、国宝級の建築物である。地熱による冷暖房システム、太陽光を最大限効果的に利用できる自然採光と室内照明システム、近代的な下水浄化システムなどを備えた殿堂の内部環境を通じて、自然エネルギーの開発と利用の重要性と意義を肌で感じることができる。

科学技術殿堂は、10の室内科学技術展示場と屋外科学技術展示場を

持つ多機能化された先進科学技術普及の中心拠点、社会教育の拠点である。

殿堂の中心ホールには人工衛星運搬ロケットの模型がある。この中心ホールを軸にして円形に形成された各階には、誰もが科学技術の原理と方法を思う存分体得できる数多くの電子閲覧室と、子供の夢館、科学技術発展史館、先端科学技術館、基礎科学館、応用科学技術館、科学探究館などの部門別室内科学技術展示場が、操作型、感知型、稼動型の展示品によって特色づけて整えられている。

また、障害者閲覧室、動画閲覧室、新書閲覧ホール、遠隔講義室、科学映画館、学術問答室、学術討論会場、学術討論会室などがある。このように多機能化された現代科学技術普及拠点、情報交流の中心拠点が設けられて、全国のすべての科学研究部門、教育機関、工場、企業はもちろん、家庭でも国内コンピュータネットワークによってリアルタイムでサービスを受け、必要な科学技術資料を交流できる確固たる展望が開かれた。

科学技術殿堂には科学者、技術者はもとより、労働者や農民、大学生、中学生、小学生、そして幼稚園の子供たちも親と一緒に引きも切らず訪ねており、外国人も多く参観している。その数は一日平均5000人以上、最高１万人を超えることもある。

2016年8月の末、朝鮮の北辺を直撃した豪雨は2日2晩降り続いた。豆満(トゥマン)江が氾濫し、無数の渓流が黄色いしぶきを上げながら住民地帯に流れ込み、大小の岩石がぶつかり合って山崩れを起こした。

1945年以来の気象観測史上その例を見ない激しさで朝鮮北辺の6市・郡を総なめにした大洪水は、国に類のない災難をもたらした。

洪水は数多くの家屋と鉄道、道路などの交通網、電力供給系統、通信網、工場と企業、田畑を破壊し、呑み込んだ。あたかも大戦禍を被った地域を思わせた。こうして、咸鏡(ハムギョン)北道北部の多くの住民が家を失くして途方に暮れた。

このような非常事態に対処して朝鮮労働党中央委員会は、すべての

北部被害地域の一部

新しく変貌した
北部被害地域

党員と人民軍将兵、人民に向けてのアピールを発表した。
　アピールは、人民の苦難以上に重大な非常事態はなく、人民の不幸を無くすこと以上に重大な革命活動はありえない、北部被害の復旧建設にわが国の人的・物的・技術的潜在力を総動員、総集中して、最短期間にこの甚大な災厄を払いのけ、災いを転じて福となす奇跡を起こそうと呼びかけた。
　これに応えて朝鮮では、「200日間戦闘」の主要攻略方向を北部被害の復旧建設に転じ、黎明（リョミョン）通りの建設をはじめ重要戦域に展開されていた主力部隊を北部被害復旧戦線に急派した。
　間近に迫った寒い冬に住民が不便な思いをしないように住宅の建設が優先的な建設対象に定められ、それを実行するための革命的な措置が講じられた。命令を受けて急遽強行軍を行って被害地域に進出した人民軍各部隊と黎明通り建設突撃隊をはじめ建設主力部隊、そして咸鏡北道の各市・郡突撃隊、被害地域の人民は、援軍・援民の伝統的美風を発揮して昼夜兼行の突貫作業を繰り広げ、社会主義文明を誇る理

柳京眼科総合病院

想郷を短期間に建設した。こうして2016年11月19日と20日、北部被害地域の人民の新居入り集会が行われた。

2016年に朝鮮ではこの他にも、中央動物園と自然博物館が建設されて人民がより文化的な生活を享受できるようになり、保健酸素工場、柳京眼科総合病院など人民の健康増進に役立つ拠点や白頭山英雄青年3号発電所をはじめ時代の記念碑的建造物が立派に建設された。また、龍岳山(リョンアクサン)石鹸工場、ミンドゥレ・ノート工場、平壌穀物加工工場、平壌スッポン工場など人民生活の向上のための軽工業部門の工場や万景台少年団野営所をはじめ多くの対象が新築または改築された。

2017年1月、平壌市の統一通りに平壌かばん工場が建設されて操業を開始した。

延床面積1万590余㎡で、学生かばんは24万2000余、一般かばんは6万余の年間生産能力を持つこの工場では、国産のかばん用布地と部品で子どもと生徒・学生の好みと美感に合ういろいろな形と色のかばんを

自然博物館の内部

平壌かばん工場の展示場

量産している。

裁断と裁縫、印刷、捺染、完成に至るすべての生産工程に、レーザーカッターをはじめ自分の力と技術で作った設備を備えている。総合的なかばん生産基地にふさわしく技術準備室や図案創作室も立派に整え、生産の手配と経営をより円滑に行えるように工場の実情に合った統合生産システムも構築している。

工場の幹部たちは工場の建設と設備の製作、労働者の技術研修を同時に推し進めて、建設が終わり次第生産を開始して大きな成果を収めた。朝鮮では平壌かばん工場をモデルにして各道にかばん工場を建設し、子どもと生徒・学生に自力で作ったかばんを供給している。

同月、柳京キムチ工場が建設されて人民に喜びを与えた。

キムチは、昔から朝鮮人が好んで食べた民族固有の伝統食品の一つである。朝鮮には木は水を吸って育ち、人はキムチを食べて暮らすという言葉があるが、それほどキムチは朝鮮人民の食生活で欠かせない副食物となっている。朝鮮では以前にキムチ研究所が設立され、キムチ生産の工業化を図っている。

柳京キムチ工場は、世界5大健康食品として知られたキムチをよりす

ぐれたものにするために建てられた。

工場に構築された統合生産システムは、他の工場の統合生産システムとは異なり、人民の評価を基本として品質管理を改善することに力が入れられている。

オートメ化、ライン化、ロボット化されたこの工場の各設備は朝鮮の科学者、技術者が設計し、工場の労働者たちが自力で製作したものであり、生産現場の無菌化、無塵化が実現し、安全性も徹底的に保証されている。

工場では白菜の丸漬けキムチ、白キムチ、子供栄養キムチ、カクトゥギ（大根の角切り漬け）などさまざまなキムチを大量に生産しており、キノコ辛漬けをはじめ各種の辛漬け製品も生産している。

2017年4月13日、労働党時代の記念碑的創造物である黎明通りの竣

柳京キムチ工場

黎明通り

工式が盛大に行われた。黎明通りには、人民に最高の文明を最高の水準で享受させようとする朝鮮労働党の意と社会主義文明が凝縮されている。

錦繍山太陽宮殿の方向には丁重さの原則に基づいて瀟洒な多層建築群が、竜興(リョンフン)十字路の永生祈念塔方向には象徴性の原則に基づいて壮大かつ華麗な超高層建築群がよく調和している。すべての住宅と公共建築に先便利性、先美学性の原則が確実に具現されており、太陽光や地熱などの自然エネルギーを効果的に利用できる節電技術や屋上・壁面緑化技術など最新の建築技術が導入されて、省エネ型通り、グリーン型通りとしての面貌を備えている。

建設者たちは、膨大な北部被害復旧戦闘を行いながらも、規模と工事量において未来科学者通りの2倍をはるかに超える黎明通りの建設をわずか1年の短期間に終えるという奇跡的成果を生み出した。人民軍軍人と建設者たちは「一気に」の精神を発揮して、70階建てアパートの骨組工事は74日間で、外壁のタイル張りは13日間で終えるなどマンリマ時代の建設神話を次々と創造した。

建設に必要な設備と資材を最優先的に生産、供給し、支援熱風を巻き起こした全国各地の人民の献身的な努力によって、黎明通りは明るい未来に向けて力強く前進する朝鮮の誇るべき創造物として光り輝いている。

2017年に朝鮮では、金山浦(クムサンポ)塩辛加工工場、平壌初等学院、礼成江(レソンガン)青年3号発電所など多くの記念碑的建造物が建設され、朝鮮革命博物館、平壌化粧品工場など多くの対象が時代の要求に即して改築された。

2018年5月30日、庫岩(コアム)—畓村(タプチョン)鉄道の開通式が行われた。朝鮮では水産業の発展に有利な庫岩地区と畓村地区、天鵝浦(チョンアポ)一帯に大規模な漁村地区をつくるため、その先行工程として庫岩—畓村鉄道を敷設することにした。朝鮮で初の海上鉄道敷設に決起した建設者は、先進科学技術を積極的に取り入れ、多くの技術革新案を導入して労力と資材を節約しながらも工事を速めるのに大きく寄与した。

庫岩と松田（ソンジョン）半島を結ぶ鉄道が完工したことにより、畓村漁村地区の建設を推し進め、そこで獲った魚類を円滑に輸送できる条件が整った。朝鮮で短期間に自力で海上鉄道を敷設したことは大きな意義があった。

9月25日、金策（キムチェク）製鉄連合企業所のチュチェ化対象の竣工式が行われた。

金策製鉄連合企業所の労働者たちは酸素熱法溶鉱炉と流動層ガス発生炉を建設し、酸素分離機を原状復旧し、炉の稼動を正常化するための立体戦を繰り広げて多くの鉄鋼材を生産した。

清津（チョンジン）金属建設連合企業所と設備組立連合企業所の労働者たちは、大胆に取り組んでチュチェ鉄生産の心臓部である1万5000㎥/hの酸素分離機の据付け工事を期限前に終え、チュチェ化対象の建設で提起されていた難題を自力で解決した。

こうして朝鮮では、100パーセント自国の技術と燃料、原料によるチュチェ鉄生産工程が確立された。

金策製鉄連合企業所のチュチェ鉄生産工程が確立することによって、朝鮮ではコークスによる鉄の生産に永遠に終止符が打たれ、鉄鋼業は確固とした上昇軌道に乗るようになった。

2018年、朝鮮では漁郎川（オランチョン）5号発電所、礼成江青年5号発電所、黄海（ファンへ）製鉄連合企業所のチュチェ化対象が完工して工業の土台が一段と強固になり、平壌大同江水産物食堂、農業研究院のトウモロコシ研究所と畑作研究所、水産研究院の中央養魚研究所など、人民を喜ばせ、人民生活の向上に資する多くの対象が建設または改築された。

4. 平和と繁栄のための劇的な出来事

民族の団結を目指して

金正恩委員長は2018年の新年の辞で、北南間の先鋭化した軍事的緊張状態を緩和して朝鮮半島で平和的環境を醸成し、民族の和解と統一を志向する雰囲気を積極的につくり出すうえで提起される諸問題について言及し、南朝鮮で開かれる冬季オリンピック競技大会の成功的開催のために代表団の派遣を含む必要な措置を講ずる用意があるとし、そのために北南当局が至急会うことができるだろうと指摘した。

南朝鮮当局と政界、言論界をはじめ各界は、これについて「南北関係改善のための大胆な提案」、「新年を迎えて民族に贈る大きな贈物」、「予想を上回る破格の措置」と激賞し、熱烈に支持、歓迎した。

2018年1月9日、板門店で開かれた北南高位級会談では、北側代表団の第23回冬季オリンピック競技大会およびパラリンピックの参加問題と、全同胞の念願と期待に応じて北南関係を改善していく問題を真摯に協議した。ここで、北側は冬季オリンピック競技大会に高位級代表団とともに民族オリンピック委員会代表団、選手団、応援団、芸術団、テコンドー師範団、記者団を派遣することにし、南側は必要な便宜をはかることにした。また、北と南は、軍事的緊張状態を解消していかなければならないことについて見解を同じくし、これを解決するために軍事当局会談を開くことにした。そして、各分野の接触と往来、交流と協力を活性化して民族の和解と団結を図ることにした。

南朝鮮で共和国の選手団は、南側選手団との共同入場と単一チームによる競技、種目別競技を通じて、オリンピックの理念と同胞の期待に即して平和を愛し、統一を願う朝鮮民族の熱望を余すところなく誇示した。

大会の期間、北側芸術団の公演とテコンドー師範団の演武、応援団の活動を見た全同胞は、朝鮮民族は二分できない単一民族であり、北南関係を改善し、一日も早く統一の日を早めなければならないということを改めて痛感した。

金正恩委員長は2月12日、南側地域から帰った朝鮮民主主義人民共和国高位級代表団に会い、第23回冬季オリンピック競技大会開幕式の参加と青瓦台の訪問をはじめ活動内容に関する報告を受け、今後の北南関係の改善と発展の方向を具体的に示し、当該部門で実務的対策を講じるよう指示した。

金正恩委員長は 3月5日、平壌を訪問した南朝鮮大統領の特使代表団に会った。

特使代表団は、金正恩委員長が第23回冬季オリンピック競技大会を契機に、高位級代表団をはじめ大規模のさまざまな代表団を派遣して大会が成功裏に行われるよう措置を講じてくれたことに謝意を表した。

委員長はこれに謝意を表し、北南関係を積極的に改善し、朝鮮半島の平和と安定を保障するうえで提起される問題について虚心坦懐に意見を交わし、北南首脳の対面に関して合意した。

委員長はまた、朝鮮半島の先鋭化した軍事的緊張を緩和し、北南間で多方面にわたる対話と接触、協力と交流を活性化するための問題についても深みのある意見を交換した。

金正恩委員長は4月1日、東平壌（トンピョンヤン）大劇場で平壌を訪問した南側芸術団の公演『春が訪れる』を観覧し、彼らの公演の成果を祝った。

4月27日、第3回北南首脳の対面と会談が板門店（パンムンジョム）の南側地域で行われた。

金正恩委員長は文在寅（ムンジェイン）大統領と板門店の分離線で温かい挨拶を交わした後、大統領と手を取り合って北と南を行き来し、板門店南側地域の「平和の家」で会談を行った。

会談では、北南関係、朝鮮半島の平和保障問題、朝鮮半島の非核化

問題をはじめ互いの関心事である問題について率直かつ虚心坦懐な意見が交わされた。

文在寅大統領は、今日の対面を祝福するかのように日和も申し分なく、金正恩国務委員長が板門店の分離線をまたいだ瞬間、板門店は分断の象徴ではなく平和の象徴になったと語った。

また、今日のような意義深い対面を成功させた金正恩国務委員長の大きな勇断に深い敬意を表するとし、このように胸襟を開いた対話が引き続き行われることを望むと述べた。

北南の首脳はすべての議題で見解を同じくし、今後、随時対面を通じて懸案と民族の重大事を真摯に論議することによって、北南関係の新しい歴史を首尾よく切り開き、朝鮮半島の平和と繁栄、統一へと向かう良好な流れをさらに拡大し、発展させるために共に努力していくことにした。

金正恩委員長は会談に先だち、歴史的な北南首脳の対面を記念して「平和の家」芳名録に次のような親筆を残した。

「新しい歴史はこれから、平和の時代、歴史の出発点で
金正恩
2018. 4. 27」

委員長は歴史的な北南首脳の対面を記念して、文在寅大統領とともに板門店に「平和と繁栄」を象徴する松を植えた。

両首脳は、北と南がおのおの準備した白頭山と漢拏山の土を合わせて根元に埋め、大同江と漢(ハン)江の水を注いだ。

北南首脳の対面では、「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言」が採択された。

歴史的な第３回北南首脳の対面と会談、板門店宣言の採択は、北と南、海外の全同胞に再び統一の歓喜を抱かせた。

北南首脳の対面と会談の様子をテレビで視聴した南朝鮮の各階層

文在寅大統領とともに松を植え、
標識碑の覆いを取る金正恩委員長
2018年4月

の人民は、我知らず涙が出た、感激した、平和の扉が大きく開かれた、胸が躍る歴史の瞬間だ、朝鮮民族の魂は70年の歳月が流れても断ち切ることができないということを今一度痛感した、世界史に末長く残る歴史的合意を成立させた北南の首脳に心から敬意を表する、と語った。

南朝鮮の各政党、各階層の市民団体も声明や談話を発表し、「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言」は70年余りも続いてきた分断と葛藤の鎖を断ち切り、北南関係を大きく前進させた、その実現に向けて極力努力すると述べた。

このような同胞の歓喜を反映して、南朝鮮では北南首脳の対面と会談、板門店宣言の採択を称える作品が創作され、同胞の激情を募らせた。

作品では、統一の虹とも言える金正恩委員長の2018年の新年の辞が今日の北南首脳の会談をもたらした、オアシスのような北南首脳の会談はすべての民衆を統一の主人として押し立て、統一の生命を育む統一の春雨になるであろう、統一の園で子供たちがはしゃぐ声が音楽のように響きわたる明るい社会が到来するようになったと強調した。また、北と南の首脳が手を取り合って歴史的な北南関係のスタートを全世界に厳かに宣言したことはわが同胞と民族のこの上ない誇りであり光栄である、その大切な結実を民族至上の課題として受け止め、一つの心、一つの意志で支えていくとき、朝鮮民族の未来は明るいものになるだろうと強調した。

第３回北南首脳の対面と会談、板門店宣言の採択について南の全同胞が、「金正恩委員長の大きな決断がもたらした平和の新しい歴史」、「南北間の和解と朝鮮半島の平和の大転機をもたらした歴史的な出来事」などと激賞した。

世界各国の指導者たちは、北南首脳会談で板門店宣言が発表されたことを歓迎するとし、よい兆しだ、非常に肯定的なニュースだ、具体的な措置を講ずることを期待すると述べた。

歴史的な板門店宣言に署名し、文在寅大統領と
宣言文を交換する金正恩委員長
2018年4月

中国外交部とフランス外務省のスポークスマンは論評を発表して、北南の首脳が朝鮮半島における軍事的緊張の緩和と非核化、恒久平和に関する共同宣言を発表した、朝鮮半島に恒久平和が到来することを希望すると述べた。

世界の主要なメディアは、金正恩国務委員長が北の指導者としては初めて南を訪問した、驚嘆すべき瞬間、類を見ないシーンだと速やかに報じた。そして板門店宣言について、4月27日、北と南は「完全な核の廃棄」に合意した、北南間にこれ以上戦争は起こらない、65年ぶりに戦争を完全に終息させ、平和協定を結ぶことにしたと一斉に報じた。

金正恩委員長は第3回北南首脳の対面と会談のために南側地域を訪問した際、文在寅大統領と北と南の標準時間を統一する問題を論議した。

これにより朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会は、2018年4月30日、政令「平壌の時間を直すことについて」を採択した。

金正恩委員長は2018年5月26日、板門店北側地域の統一閣で第4回北南首脳の対面と会談を行った。

会談では、第3回北南首脳の対面で合意した板門店宣言を速やかに履行し、朝鮮半島の非核化と地域の平和と安定、繁栄を実現するために解決すべき諸問題と、北と南が直面している問題、朝米首脳会談の開催を成功させる問題について意見が交換された。

第3回北南首脳の対面から29日ぶりに第4回北南首脳の対面と会談が行われたことは、板門店宣言の確実な履行で北南関係の発展、朝鮮半島の平和と繁栄の流れを一層加速する特記すべき出来事となった。

第4回北南首脳の対面と会談での双方の合意に基づいて、中断されていた北南高位級会談が行われ、板門店宣言を履行するための事業が活発化するようになった。

2018年9月18日、第５回北南首脳の対面と会談のために平壌を訪問する文在寅大統領を平壌国際空港で温かく迎えた金正恩委員長は、9月19日、文在寅大統領の宿所である百花園(ペクファウォン)迎賓館を訪れて会談を行った。

会談では、歴史的な板門店宣言を正確に履行するとの双方の意志を再度確認し、その実行上堅持すべき重要な問題および具体的な対策案を定立し、北と南が当面取るべき若干の実践的措置について合意した。

金正恩委員長と文在寅大統領は、心と志を合わせて相手方を尊重し信頼する立場と姿勢を堅持して誠実に努力することで、敵対と対決が激化していた北南関係を画期的に転換させ、驚くべき変化と結実をもたらした貴重な成果と経験に基づいて、今後も和解と協力の時代に合致し、今日の関係発展をしっかり裏付ける措置を引き続き講じていく方途について真摯に話し合った。

そして、板門店宣言を確実に履行して北南関係を新たな高い段階に引き上げるための諸問題と実践的対策について虚心坦懐な、かつ深みのある論議を行い、今回の平壌首脳会談は重要な歴史的転機になるだろうとの認識を同じくして、「9月平壌共同宣言」に署名した。

金正恩委員長は、宣言には新しい希望に胸が高鳴る民族の息吹があり、強烈な統一の意志に燃える同胞の魂があり、遠からず現実になるであろうわれわれみんなの夢がこもっていると述べた。

次いで委員長は、文在寅大統領とともに平和と繁栄へ向かう聖なる旅程で常に固く手を取り合い、先頭に立って進むであろうとの意志を表明した。

文在寅大統領は、南北関係は揺らぐことなく続くであろうと確言し、去る春は韓半島に平和と繁栄の種がまかれ、今日は秋の平壌で平和と繁栄の実が結ばれつつあるとして、喜びの言葉を述べた。

9月20日、金正恩委員長と文在寅大統領は朝鮮民族の聖山―白頭山に登った。

文在寅大統領は、朝鮮民族の精神と気概がこもる聖山の頂に立った

文在寅大統領と会見する金正恩委員長
2018年5月

白頭山に登った金正恩委員長と文在寅大統領
2018年9月

感激を語り、きょうのこの第一歩がすべての同胞が登頂する新時代につながるであろうとの期待と確信を表明した。

金正恩委員長と李雪主（リ ソルチュ）女史は、文在寅大統領夫妻とともに白頭山の頂に登った歴史の瞬間を記念して意義深い写真を撮り、そのあと天池の湖畔に下りて散策し、白頭山に登った所感を語り合った。

白頭山の将軍峰（チャングン）と天池のほとりでは、北と南の人士たちが一つに解け合い、意義深い記念写真を撮るシーンも見られた。

朝鮮の新聞・放送は、北と南の首脳の白頭山探勝について、「北と南の首脳が民族の象徴である白頭山に並んで登り、北南関係の進展と平和・繁栄の新時代の明瞭な足跡を残したことは、民族史に特記すべき歴史的な出来事である」と報じた。

３度にわたる北南首脳の対面と会談は、不信と論難に一貫してきた過去の古い惰性から脱却し、信義と協力によって問題の妥結をはかる新しい対話の姿を見せたことで、長年の対決と断絶の時代から対話と協力の新時代に移る歴史的転機となった。

伝統的な友好と協力のさらなる強化

金正恩委員長は、朝鮮半島で核戦争の危険を取り除き、地域の平和と安全を保障することに利害関係を持つ周辺諸国との積極的な対外活動を行った。

金正恩委員長は、2018年3月25日から28日にかけて中華人民共和国を非公式訪問した。

金正恩委員長は習近平主席と対面し、朝中友好関係の発展と朝鮮半島の情勢管理問題をはじめ重要な事案について深みのある意見を交換した。また、両国の老世代の指導者たちが築き強化発展させてきた朝中親善の貴重な伝統を継承し、進展する時代の要請に即して新たな高い段階に引き上げることは朝鮮労働党と共和国政府の揺るぎない決心であると強調し、中国の同志たちとたびたび会って友誼を一層厚くし、戦略的な意志の疎通及び戦略・戦術的協同を強化して朝中両国の団結と協力を強めなければならないと語った。

習近平主席は、金正恩委員長が最初の外国訪問として中国を選んだことを熱烈に歓迎し、老世代の指導者たちが共通の理想と信念、厚い革命的友誼をもって社会主義偉業の勝利の前進に寄与する過程に築き、真心をこめて発展させてきた中朝親善を重視し、絶えず継承、発展させていくのは中国の党と政府の戦略的選択であり、確固不動の意志であると強調した。

金正恩委員長は、最初の中国訪問以後、朝中友好を新時代の要請に即して発展させることに深い関心を払った。

2018年4月14日、委員長は第31回4月の春親善芸術祭に参加するため芸

術団を引率して平壌を訪問している中国共産党中央委員会対外連絡部長に会い、4月16日に東平壌大劇場で中国芸術団のバレー舞踊劇『赤い女性中隊』を観覧し、4月17日には対外連絡部長に再度会って話し合った。

委員長は、彼が引率する中国芸術団の平壌訪問が両国の党と政府の特別の関心と期待の中で成功裏に行われたことを祝い、第31回4月の春親善芸術祭に花を添えた中国の同志たちの努力を高く評価した。

委員長は、各分野における交流と往来を活発に行い、両党間の戦略・戦術的協同をより強化する問題について深みのある意見を交換した。

中国芸術団の平壌訪問は、両国人民間の信頼を一層厚くし、文化交流の礎石をうち固め、新時代の要請に即して朝中友好関係を新たな高い段階へと強化発展させるうえで有意義な契機となった。

2018年5月3日、金正恩委員長は平壌を訪問している中華人民共和国国務院国務委員兼外交部長と会見し、朝中両国間の団結と伝統的な友好・協力関係を全面的に継承し、深化発展させることと、朝鮮半島の情勢の推移と展望をはじめ互いの関心事となっている諸問題について意見を交換した。

金正恩委員長は、2018年5月7日から8日にかけて中華人民共和国の大連市を訪問し、習近平主席と会談した。

会談では、世界の耳目を集めている朝鮮半島の情勢の動きと発展推移についての評価と見解、両国の政治・経済状態が通報され、朝中友好・協力関係をより立派に発展させることと、共通の関心事となっている重大な問題の解決方途について深みのある意見が交わされた。

金正恩委員長は2018年6月19日から20日にかけて中華人民共和国を再び訪問し、習近平主席と対面した。

習近平主席に会う金正恩委員長
2018年5月

習近平主席が催した昼食に招かれた金正恩委員長
2018年6月

委員長は6月19日の会談で、中国の党と政府が朝米首脳の対面と会談の成功に向けて心のこもった積極的な支持と立派な援助を行ってくれたことに謝意を表した。

また、最近両党間の戦略的協調が強まり、相互の信頼が一層厚くなっていることを非常に満足に思い、貴重なものと考えているとして、今後も朝中両党、両国人民間の緊密な団結・協力を一層深めていく決心と意志を披瀝した。

習近平主席は、金正恩委員長が朝米首脳の対面と会談を成功裏に主導して、朝鮮半島の情勢を対話と協商の軌道、平和と安定の軌道に乗せたことを高く評価し、心から祝意を表した。

また、朝鮮半島の非核化の実現をめざす朝鮮側の立場と決心を積極的に支持するとし、中国は今後も引き続き自分の建設的役割を果たしていくであろうと述べた。

習近平主席は、6月19日の夕、人民大会堂で盛大な宴会を催した。

習近平主席は歓迎演説で、金正恩委員長の中国訪問を熱烈に歓迎し、これは中朝両党の戦略的意志の疎通を高度に重視し、伝統的な中朝友好を発展させようとする金正恩委員長の確固不動の意志を十分に示し、中朝両党・両国関係の不敗性を全世界に誇示したと語った。

そして、中国と朝鮮は近しい友、同志として互いに学び参酌し、団結し協力することで、両国の社会主義偉業のより明るく美しい未来を共同で切り開いていくであろうと確言した。

金正恩委員長は答礼演説で、朝米首脳会談が成功裏に行われて、朝鮮半島と地域に新しい歴史的な流れが胎動している時期に、習近平主席と近しい中国の同志たちに再会できたことを非常に嬉しく思うとし、習近平主席が国務で多忙をきわめる中でもこのように歓待してくれていることに心から謝意を表すると述べた。

そして、今日、朝中が一つの家族のように苦楽を共にし、心から助け合い協力している姿は、朝中両党・両国の関係が伝統的な関係を超越して古今東西に類のない特別な関係に発展していることを内外にはっきり示しているとし、習近平主席と結んだきずなと情義をこのうえなく重視し、朝中の親善関係を新たな高い段階へたえず昇華発展させるために全力を傾けるであろうと語った。

金正恩委員長は2019年1月7日から10日にかけて、中華人民共和国習近平主席の招きで中華人民共和国を訪問した。

習近平主席は、金正恩委員長が新年最初の対外活動として中国を訪問したことを熱烈に歓迎し、今回の訪問が中朝関係の発展を立派に導くうえで特別重要な契機となるであろうと述べた。

朝中両党・両国の最高指導者たちは、朝中両党・両国の友好と団結、交流と協力を時代の要請に即して一層強化することと、共通の関心事となっている国際および地域問題、特に朝鮮半島の情勢管理と非核化の協商過程を共同で研究しコントロールする問題について率直で深みのある意思疎通を行い、対外関係分野において両国の党と政府が堅持している自主的立場に理解と支持、連帯を表明した。

習近平主席は、昨年金正恩委員長は社会主義経済建設に総力を集中するという新たな戦略的路線を打ち出し、英明果断な決断を下して諸般の重大な措置を講じて、平和愛好的で、発展を志向する朝鮮側の希望と期待を国際社会に示すことによって国際的影響力を強め、全世界の大きな支持と理解、熱烈な歓迎を受けていると語った。

そして、これは金正恩委員長の戦略的決断が正確であることを実証し、朝鮮人民の利益と時代の流れに合致することを示しているとし、朝鮮の党と政府が対内対外的に立派な成果を収めていることを高く評価し、同志として、友人として、金正恩委員長の指導のもとに朝鮮労

働党の社会主義偉業遂行においてより大きな新たな成果がもたらされるであろうことを確信し、心から祝うと述べた。

双方はまた、共通の関心事となっている国際および地域問題について深みのある意見を交換した。

新年早々行われた金正恩委員長の訪中は、朝中両党・両国間の親善、団結の歴史に特記すべき今一つの出来事であり、朝中最高指導部の戦略的意志疎通を一層強化し、朝鮮半島の平和と安定を守るうえで大きな意義を持つ歴史的な契機となった。

2019年6月20日から21日にかけて、中華人民共和国の習近平主席が朝鮮民主主義人民共和国を訪問した。

金正恩委員長と習近平主席との会談が行われた。

会談で両国の最高指導者たちは、伝統的な朝中友好・協力関係を時代の要請に即して引き続き強化発展させることは両国の党と政府の一貫した立場であり、両国人民の志向と念願、根本的利益に合致すると強調し、朝中外交関係樹立70周年を一層意義深く迎えるための立派な計画を提起し、意見の交換を行った。

また、朝鮮半島の情勢をはじめ重大な国際および地域問題について幅広い意見を交換し、今のように国際および地域情勢に深刻かつ複雑な変化が生じている環境の中で、朝中両党、両国の関係を一層発展させることは両国の共通の利益に合致し、地域の平和と安定、発展に有利であると評価した。

習近平主席の訪朝は、朝中友好の立派で偉大な歴史と伝統を継承し、自主と正義をめざす闘争の道で固く手を取り合っていこうとする両国の最高指導者たちの確固不動の意志を内外に誇示した。

2019年1月、朝中両党・両国の友好と団結のきずなをさらに強めるため、朝鮮民主主義人民共和国親善芸術代表団が中華人民共和国を訪問した。

習近平主席と散策しながら談笑する金正恩委員長
2019年6月

朝鮮民主主義人民共和国親善芸術代表団の訪中は、朝中関係の偉大な新しい歴史、新時代により一層強化発展している朝中親善の不変性と不敗性を誇示し、朝中外交関係樹立70周年を盛大に慶祝するための有意義な序幕となった。

習近平主席は1月27日、国家大劇院で朝鮮芸術団の公演を観覧した。

習近平主席は、公演に先立って朝鮮民主主義人民共和国親善芸術代表団の主なメンバーに会い、談話を交わした。

習近平主席は、文化芸術の交流は中朝関係において非常に特色ある伝統的な重要構成部分だと強調し、双方が共同で努力して社会主義文化建設の推進に大いに寄与することを望むと語った。

公演が終わった後、習近平主席と彭麗媛女史は出演者に花かごを贈って公演の成果を祝い、彼らとともに記念写真を撮った。

朝中両党・両国の最高指導者たちの重要な合意を実行するための2019年初の親善使節である朝鮮民主主義人民共和国親善芸術代表団の中国公演は、新しい開花期を迎えた朝中文化芸術交流史の一ページを飾り、朝中両国人民の血縁的きずなを偉大な新時代の要請に即してより強化発展させる意義深い契機となった。

2019年1月31日、中国公演を成功裏に終えて帰国した朝鮮民主主義人民共和国親善芸術代表団に会った金正恩委員長は、中国公演を成功裏に行って中国人民を喜ばせたことに満足の意を表し、朝中両国人民の情緒的・文化的きずなを一層強めることに大いに寄与した代表団のすべてのメンバーに謝意を表した。

2018年5月31日、金正恩委員長は平壌を訪問しているロシア連邦の外相に会い、談話を交わした。

談話では、世界的な関心事となっている朝鮮半島と地域の情勢の推移と展望についての朝ロの最高指導部の意思と見解が交換され、両国

の政治・経済協力関係を一段と発展させ、緊密に協力していく問題が話し合われた。

ロシア連邦の外相は、朝鮮が北と南、朝米関係を正しく主導し、実践的な行動措置を積極的に取ることにより、朝鮮半島と地域の情勢が安定的局面に入っていることを高く評価し、日程にのぼった朝米首脳会談と朝鮮半島非核化の実現をめざす朝鮮の決心と立場をロシアは全的に支持し、満足な成果を収めるであろうと期待していると語った。

談話ではまた、戦略的で伝統的な朝ロ関係を、今後も双方の利益にかなうよう、新時代の要請に即して引き続き発展させていくため、両国の外交関係樹立70周年に当たる2018年に高位級の往来を活性化し、各分野において交流と協力を積極化し、特に朝ロの最高指導者の会見を実現させることについて合意した。

金正恩委員長はロシア指導部の立場と意中を確認し、新しい政治上および戦略上の相互信頼関係を築くことができたことに大満足の意を表した。

2019年4月25日、金正恩委員長はウラジオストークでウラジーミル・V・プーチン・ロシア連邦大統領と対面した。

単独会談では、それぞれ自国の状況を通報し、相互の理解と信頼、親善と協力を一段と増進させ、新世紀を志向した朝ロ親善関係の発展を促す具体的な方向と措置について合意し、当面の協力問題を真摯に討議し、満足のいく見解の一致を見た。

プーチン大統領は、金正恩委員長がロシアを訪問してくれたことに再度深い謝意を表し、ロ朝親善の歴史と伝統を継承、発展させようとするロシア政府の確固たる立場と意志を披瀝した。

金正恩委員長は、貴重な伝統を継承し、新世紀の要請に即して朝ロ関係を新たな高い段階に引き上げることは時代と歴史に対して担って

プーチン大統領に会う金正恩委員長
2019年4月

いる当然の責任だとし、先代の指導者たちの志を体して朝ロ関係発展の新たな全盛期を切り開いていくという決心を表明した。

両国の最高指導者たちは、最高位級の対面と接触を含む高位級の往来を活性化し、両国の政府と国会、地域、団体間の協力と交流、協調をさまざまな形式で発展させていくことについて話し合った。

金正恩委員長のロシア連邦への親善訪問は、世紀と世代を継いで受け継がれてきた長くて緊密な朝ロ親善の堅固さを誇示し、両国間の伝統的な親善・協力関係を新たな情勢の下で、新時代の要請にふさわしくより一層昇華、発展させるための画期的な転機をもたらした大きな出来事として、朝ロ親善の団結の歴史を飾った。

金正恩委員長が行った中国とロシアとの対外活動は、朝中、朝ロ親善を一層強力に前進させていく重要な原動力となり、朝中、朝ロ間の戦略的協同をより緊密にし、朝鮮半島地域において恒久的かつ強固な平和と安定を構築するのに大きく寄与した。

2018年11月4日、金正恩委員長は朝鮮を訪問するミゲル・ディアスカネル・キューバ共和国国家評議会議長兼内閣首相を平壌国際空港で温かく迎えた。

同日、金正恩委員長はミゲル・ディアスカネル議長と単独会談を行った。

委員長は、ミゲル・ディアスカネル議長の訪朝を熱烈に歓迎し、代表団のこのたびの訪問は両国人民の伝統的な友情と信頼、友好・団結の不敗性を誇示する契機となり、朝鮮人民の正義の偉業に対する支持と連帯の表れであると語った。

金正恩委員長とミゲル・ディアスカネル議長は、それぞれ自国の実情に即した社会主義を建設するために闘っている両国の党と国家の活動における成果と経験を通報し、それに全面的な支持と連帯を表明

ミゲル・ディアスカネル議長とともに
平壌市民の歓呼に応える金正恩委員長
2018年11月

し、各分野における協力と交流を共通の利益に即してさらに拡大発展させていくことについて話し合った。

会談ではまた、朝鮮労働党とキューバ共産党の共通の関心事となっている重要な問題および国際情勢に関する問題が真摯に討議され、すべての問題で見解を同じくした。

金正恩委員長とミゲル・ディアスカネル議長は、両国の偉大な領袖たちが革命的原則と同志的信義、社会主義的原則に基づく特殊な親善関係の基盤を築き、発展させてきたことと、新たな情勢と環境の中でも双方の共同の努力によって両国間の友好の歴史と伝統が変わることなく受け継がれ、一層発展していることを高く評価し、今後も両党、両国間の戦略的かつ同志的な親善・協力関係を今日の新時代の要請に即してさらに拡大強化していくという両国の党と政府の確固不動の立場と意志を表明した。

11月4日夕、金正恩委員長は歓迎宴での演説で、ミゲル・ディアスカネル議長との今回の会見が、両国の友好関係を永遠に継承していこうとする意志を誇示する分水嶺になるであろうと述べ、朝鮮とキューバは国の自主権と尊厳を固守し、国際的正義を守る闘いで同じ塹壕を占めているとして、繁栄する強力な国家を建設しているキューバ人民への変わらぬ支持声援を表明した。

そして、友好的なキューバの党と政府、人民が社会主義建設と祖国の自主的統一をめざすわれわれの闘いに絶対的な支持声援を寄せていることに謝意を表し、われわれは朝鮮とキューバ間の戦略的かつ同志的な友好関係を強化発展させていくであろうと強調した。

ミゲル・ディアスカネル議長は答礼演説で、キューバにおける革命偉業継承の歴史的な時期に朝鮮を訪問したことは、朝鮮との関係を変わることなく発展させていこうとするキューバの党と政府の確固不動

ミゲル・ディアスカネル議長と会談する金正恩委員長
2018年11月

の立場の明白な表明であると強調した。

そして、朝鮮人民がキューバ人民への熱い友好の情を抱いて温かく迎え、立派な歓迎公演や盛大な宴会を催してくれたことに対し心から謝意を表し、朝鮮の党と政府、人民がキューバ人民の正義の偉業を積極的に支持声援してくれていることに感謝していると述べた。

ミゲル・ディアスカネル議長の訪朝は、朝鮮とキューバ間に結ばれた兄弟的で伝統的な友好・協力関係を、世紀と世代を継いで変わることなく継承し発展させ、社会主義の旗印を高く掲げて共同の偉業のために闘う両党・両国人民の戦闘的団結を強固にするうえで歴史的な分水嶺となった。

2019年3月1日、金正恩委員長はベトナム社会主義共和国への公式親善訪問を行った。

金正恩委員長は、主席府でグエン・フー・チョン・ベトナム共産党中央委員会書記長兼ベトナム社会主義共和国主席と対面し、会談を行った。

金正恩委員長は会談で、先代の領袖たちの志を体して血潮をもって結ばれた両国・両党間の友好・協力関係を代を継いで継承していくことはわが党と国家の一貫した立場であるとし、党及び政府間の往来を活発に行い、経済、科学技術、国防、スポーツ、文化芸術、出版・報道部門など各分野における協力と交流を正常化し、新たな高い段階へと発展させるべきだと述べた。

また、ベトナムの党と政府が第２回朝米首脳対面と会談を成功させるために積極的な、かつ心からの支持と声援を寄せてくれたことに謝意を表した。

グエン・フー・チョン主席は、ベトナムと朝鮮との友好・協力関係は、ホー・チ・ミン主席と金日成主席が築き発展させてきた伝統的

グエン・フー・チョン主席に会う金正恩委員長
2019年3月

な友好・協力関係であり、ベトナムの党と政府と人民は、朝鮮がベトナムの独立と民族解放闘争に大きな支持と声援を寄せてくれたことを永遠に忘れず、ありがたく思っているとし、両国間の関係を常に重視し、両党・両国間の関係をさらに発展させるのはベトナムの党と政府の確固たる立場であると語った。

そして、第２回朝米首脳対面の場所としてハノイを選んだことは両国間の信頼を示していると指摘した。

金正恩委員長は同日の午後、グエン・スオン・フック首相、グエン・ティ・キム・ガン人民会議議長と対面し、談話を交わした。

同日、グエン・フー・チョン主席は国際会議センターで盛大な宴会を催した。

グエン・フー・チョン主席は歓迎演説で、ホー・チ・ミン主席と金日成主席が自ら築き大切にしてきた両国の党と国家、人民間の伝統的な友好関係は、幾多の挑戦を乗り越えて不断に継承され発展してきたと述べ、ベトナムと朝鮮との外交関係樹立70周年を控えて行われた金正恩委員長の今回の訪問は、両国人民の利益、世界の平和と安定、協力と発展に大きく寄与するであろうとの確信を表明した。

金正恩委員長は、ベトナムへの初の訪問とグエン・フー・チョン主席との意義深い対面を通じて、金日成主席とホー・チ・ミン主席によって結ばれ、強固になった両党、両国人民間の友好・協力関係の生命力と輝かしい未来を確信していると述べ、両国の先代の領袖たちが譲り渡してくれた貴い遺産である朝鮮・ベトナム両国の親善を固守し、代を継いで永遠に輝かせていく意志を表明した。

金正恩委員長のベトナム社会主義共和国への公式親善訪問は、社会主義の旗印を高く掲げて共通の目的と理想を実現するための闘争を通じて、血潮をもって結ばれ、あらゆる試練の中で強固になった両党・

両国間の伝統的な友好・協力関係を誇示し、世紀と世代を継いで変わることなく継承し、発展させるうえで大きな意義を持つ画期的な出来事として両国の親善の年代記を飾った。

2019年4月、ベトナム国家芸術団の公演
『春の陽光』が朝鮮で行われる

国際社会の耳目を集めた世紀の対面

2018年6月12日、史上初の朝米首脳の対面と会談が行われた。

午前9時、金正恩委員長はアメリカ合衆国のドナルド・J・トランプ大統領と対面し、単独会談を行った。

朝米の両首脳は、数十年間持続してきた朝米の敵対関係に終止符を打ち、朝鮮半島に平和と安定を定着させるうえで重要な意義を持つ実践的問題について意見を交わした。

続いて行われた拡大会談では、新しい朝米関係の樹立と朝鮮半島における恒久的かつ強固な平和体制の構築に関する問題について包括的で、かつ深みのある論議が行われた。

トランプ大統領は、今回の首脳会談が朝米関係の改善につながるものとの確信を表明し、金正恩委員長が年頭から取った主動的かつ平和愛好的な措置により、わずか数カ月前まで軍事衝突の危機が極に達していた朝鮮半島と地域に平和と安定の雰囲気が到来するに至ったと評価した。

そして、朝米間に善意の対話が行われる間、朝鮮側が挑発と見なす米国・南朝鮮合同軍事演習を中止し、朝鮮民主主義人民共和国に対する安全保障を提供し、対話と交渉による関係改善の進展に伴って対朝鮮制裁を解除することができるとの意向を表明した。

朝米の両首脳は、朝鮮半島の平和と安定、朝鮮半島の非核化を実現していく過程で、段階別の同時行動原則を守ることが重要だとする点で認識を同じくした。

会談後、金正恩委員長とトランプ大統領は歴史的なシンガポール首脳会談に関する共同声明に署名した。

共同声明には、平和と繁栄を望む両国人民の念願に即して新たな朝米関係を樹立していく問題、朝鮮半島に恒久的かつ強固な平和体制を

共同声明に署名して握手を交わす
金正恩委員長とトランプ大統領
2018年6月

構築するために共同で努力する問題、共和国が2018年4月27日に採択された板門店宣言を再確認し、朝鮮半島の完全な非核化を目指して勉力する問題、両国が戦争捕虜および行方不明者の遺骨を発掘し、発掘済みの遺骨を即時送還する問題が反映された。また、共同声明の各条項を完全かつ速やかに履行し、新たな朝米関係の発展と朝鮮半島と世界の平和と繁栄、安全を促進するために協力することを強調した。

世界のメディアは、シンガポール朝米首脳対面と会談を「史書と世界史の教科書に記述すべき会談」だと評した。

また、シンガポール朝米首脳会談は、朝鮮半島と地域に到来している和解と平和、安定と繁栄をめざす歴史的な流れを一層加速し、一番敵視しあっていた朝米両国の関係を発展する時代の要請に即して画期的に転換させていくうえで重大な意義を持つ大きな出来事であると評価した。

そして、金正恩委員長はシンガポール滞在期間、全世界に強烈な印象を残した、わずか2カ月の間に中国の指導者と２度も会い、ついで米国の大統領との対面に成功することにより、「現代外交史のスーパー政治家」、「世界各国の首脳が胸襟を開いて話し合える合理的で洗練された指導者」、「2018年の国際政治界で最も影響力のある指導者」、「全世界の最大の関心を集めた政治家」、「70余年間の朝米敵対関係に終止符を打ち、朝鮮半島の新しい平和時代を開く強力な指導者」として浮上したと称えた。

また、金正恩委員長がトランプ大統領とともに朝鮮半島の非核化と平和体制構築のための旅程の偉大な第一歩を踏み出したことにより、朝鮮の分断以降70余年ぶりに不信と対立が続いてきた朝米関係は新たな転換期を迎え、朝鮮半島の歴史と東北アジアの国際秩序に変化が生じるようになったとし、金正恩委員長は地球上に残っている最後の冷戦の鎖を必ず断ち切るであろう、世界で最も長く続いた朝米敵対関係は一朝には解決されないであろうが、朝米関係についで朝日関係も正常化し、朝鮮半島の停戦体制が崩壊して北東アジアに平和の時代が到

来する日は必ず来るであろう、と評した。

2019年2月27日、金正恩委員長はベトナムのハノイでトランプ大統領と再会した。同日行われた単独歓談と夕食会では、虚心坦懐かつ率直な対話が進められた。

2月28日、朝米首脳の単独会談と全員会談が行われた。

会談では、朝鮮半島の非核化と朝米関係の画期的発展のために今後も緊密な連係を保ち、ハノイ首脳会談で話し合わった問題を解決するための生産的な対話を続けていくことにした。

全世界の大きな関心と期待の中で行われた第2回朝米首脳対面と会談は、朝米関係を両国人民の利益にかなうよう発展させ、朝鮮半島と地域、世界の平和と安全に資する有意義な契機となった。

2019年6月、金正恩委員長はトランプ大統領の親書を読み、立派な内容が盛り込まれているとして満足の意を表した。

そして、トランプ大統領の政治的判断力と並々ならぬ勇気に謝意を表するとし、興味深い内容について慎重に考えてみると語った。

2019年6月30日、板門店では金正恩委員長とトランプ大統領の歴史的な対面が行われた。

金正恩委員長は、南朝鮮を訪問する機会に非武装地帯で金正恩国務委員長に会いたいというトランプ大統領の意思を受諾し、板門店の南側地域に出向いた。

1953年の朝鮮停戦協定以降、66年ぶりに朝米両国の最高首脳が分断の象徴であった板門店で手を取り合って歴史的な握手を交わす驚くべき現実が繰り広げられた。

金正恩委員長とトランプ大統領が、板門店の北側地域にある板門閣の前で再度手を取り合うことによって、現職のアメリカ大統領としては史上初めて軍事境界線を越えて北側の領土に入った歴史的な瞬間が記録された。

単独歓談と会談では、朝鮮半島の緊張状態を緩和し、朝米両国間の好ましくない関係に終止符を打って劇的な転換をもたらすための方途

トランプ大統領と夕食をともにする金正恩委員長
2019年2月

板門店でトランプ大統領に会う金正恩委員長
2019年6月

的問題と、それを解決するうえで障害となる互いの憂慮事項と関心事となる問題について説明し、全面的な理解と共感を示した。

金正恩委員長は、トランプ大統領との立派な親交があったがゆえにわずか一日の間に今日のような劇的な対面が実現したとし、今後も自分とトランプ大統領との立派な関係は他人が予想もできないよい結果を引き続き生み出し、立ちはだかる困難と障害を克服する神秘な力として作用するだろうと語った。

朝米の対決と葛藤の象徴として固く閉ざされていた板門店の分断の扉を開け放ち、歴史を超える世紀的な対面を実現した朝米両国の最高首脳の大勇断は、根深い敵対国として嫉視反目してきた両国間に前例のない信頼を生み出す驚くべき出来事となった。

数度にわたる北南首脳会談と朝中首脳会談、朝米首脳会談を契機に、朝鮮半島と地域には緊張緩和と平和へと向かう新しい雰囲気が形成された。長い間存在していた不信と敵対関係に終止符を打ち、新たな出発を告げる歴史的な出来事を目撃した世界のメディアは、無視できない政治・軍事強国としての大きな影響力を発揮して国際政治情勢を主導していく朝鮮を競って称えている。

終わりに

時代は絶えず変化、発展し、革命と建設においては新しい理論的・実践的問題が提起される。苦難に満ちた激しい闘争の中で朝鮮は新たな高い段階へと飛躍している。

朝鮮は社会主義経済建設に総力を集中するという路線を打ち出し、その貫徹に向けて総邁進している。日ごとにめざましい変貌を遂げる朝鮮の現実を目の当たりにして理解に苦しむ人もあるだろう。

しかし朝鮮は、誰が何と言おうとも、ひたすら自分が選んだ道、自主の道を進むであろうし、自分が掲げたチュチェの旗を高く翻し、最終的勝利をめざして疾風のごとく突き進むであろう。

驚異的な出来事が次々と起こっている朝鮮の現実を目にした世界のメディアが、「現代の最も傑出した政治指導者」、「自信を持って国際政治情勢を主導している老練な政治家」などと、金正恩委員長を称えているのは決して理由のないことではない。

金正恩時代の朝鮮

執　筆：金京哲、金錦姫
編　集：卓成日、金英鮮
翻　訳：李成洛、徐正次
発行所：朝鮮民主主義人民共和国
　　　　外国文出版社
発　行：チュチェ109(2020)年9月

E-mail: flph@star-co.net.kp
http://www.korean-books.com.kp